

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)

(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講師 株式会社ニッピ バイオマトリックス研究所
部長 後藤 希代子 先生
2. 演題 分泌タンパク質の翻訳調節からみる小胞体の機能
ーコラーゲン分泌の機構を通して
3. 日時 平成29年2月8日(水)17時00分～19時00分
4. 場所 M&D タワー6階 共用セミナー室 12
5. 要旨

皮膚、骨等の主要タンパク質であるコラーゲンは線維芽細胞、骨芽細胞など特定の細胞が分泌し組織形成に必須である。これらの細胞は小胞体が発達し精緻なタンパク質合成装置を用い高効率なコラーゲン合成を達成している。コラーゲン分泌活性化の機構解析から判明した翻訳調節機構に焦点を当て、タンパク質合成装置複合体、古典的なシグナル仮説とは異なる mRNA 輸送経路、小胞体役割の新規仮説など最近の話題を含めて紹介する。

連絡先： 井関 祥子 (分子発生学分野 内線 5579)